新型コロナウイルス感染症に関するアンケート

集計結果

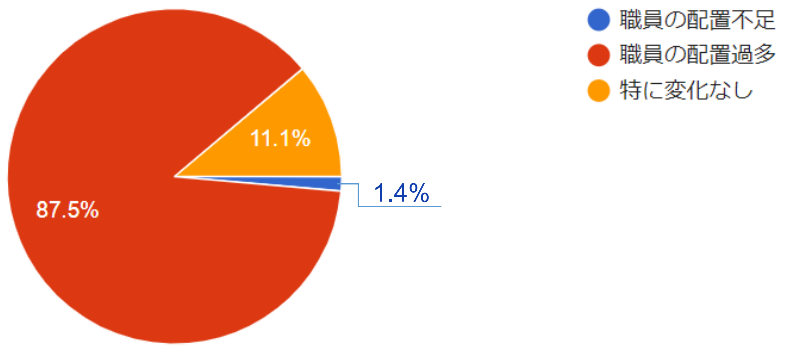
調査日時

令和２年５月28日～６月５日

日本保育協会　滋賀県支部

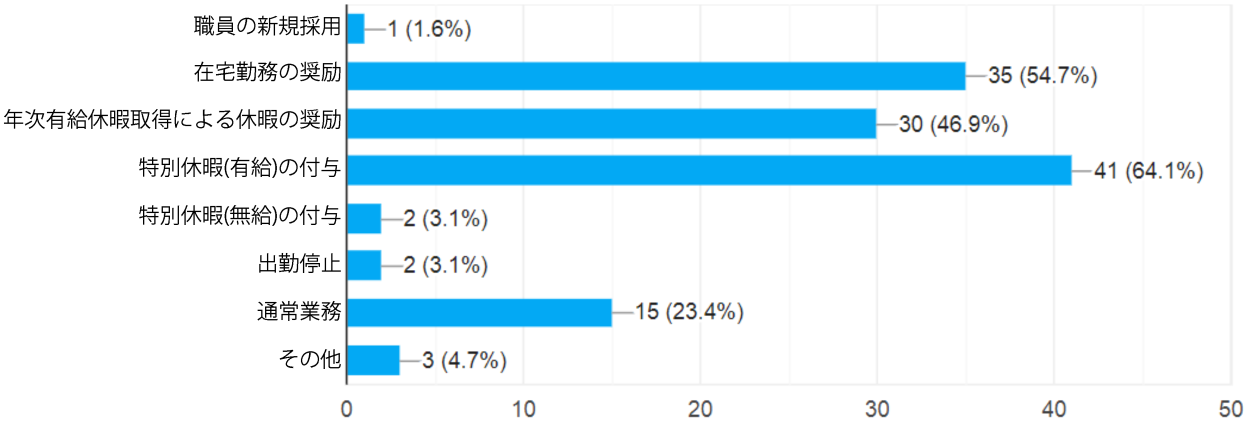
Ｑ１　新型コロナウイルス感染症の発生により自園の職員配置にどのような影響がでましたか？　該当する項目を選択してください。

72 件の回答



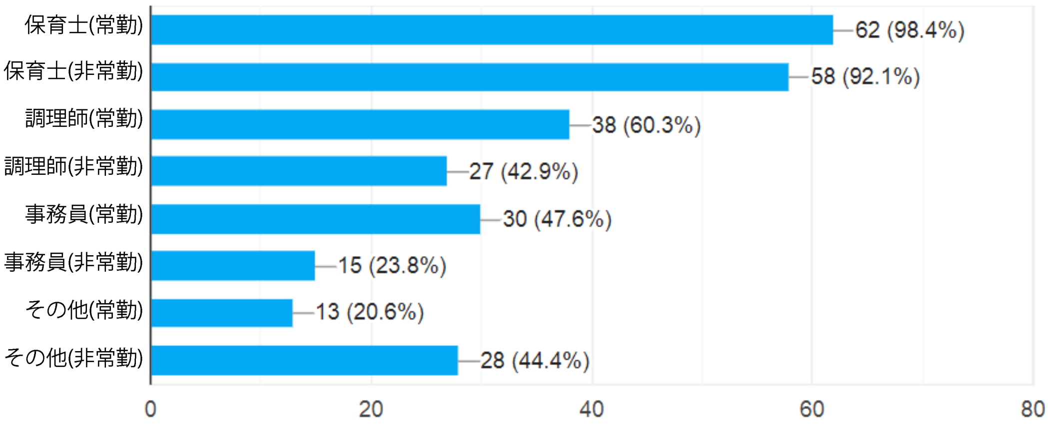
Ｑ２　登園自粛中による保育園業務の職員の過不足について、どのような対応を図りましたか？　該当する項目に✔をしてください。（複数回答可）

64 件の回答



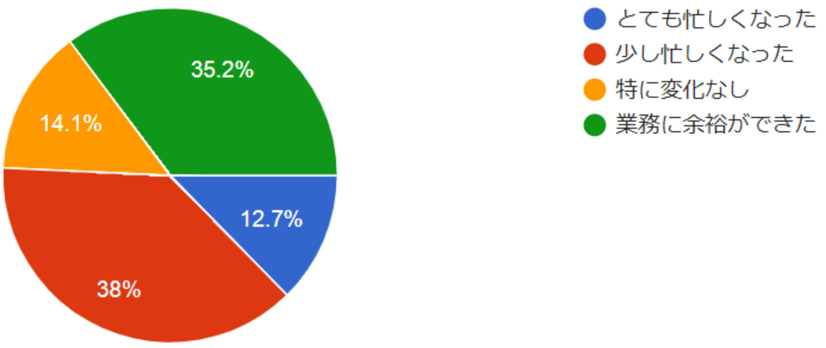
Ｑ３　Ｑ２で✔した項目について該当する職種に✔をしてください。（複数回答可）

63 件の回答



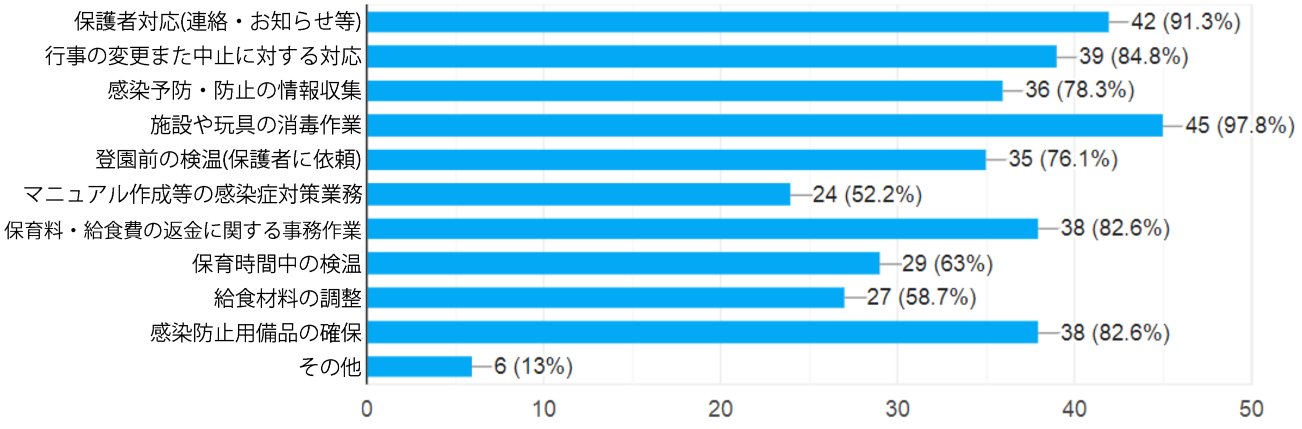
Ｑ４　新型コロナウイルス感染症の発生により、職員の業務量に変化はありましたか？　該当する項目を選択してください。

71 件の回答



Ｑ５　具体的にどのような業務が増加しましたか？　該当する項目に✓をしてください。（複数回答可）

46 件の回答



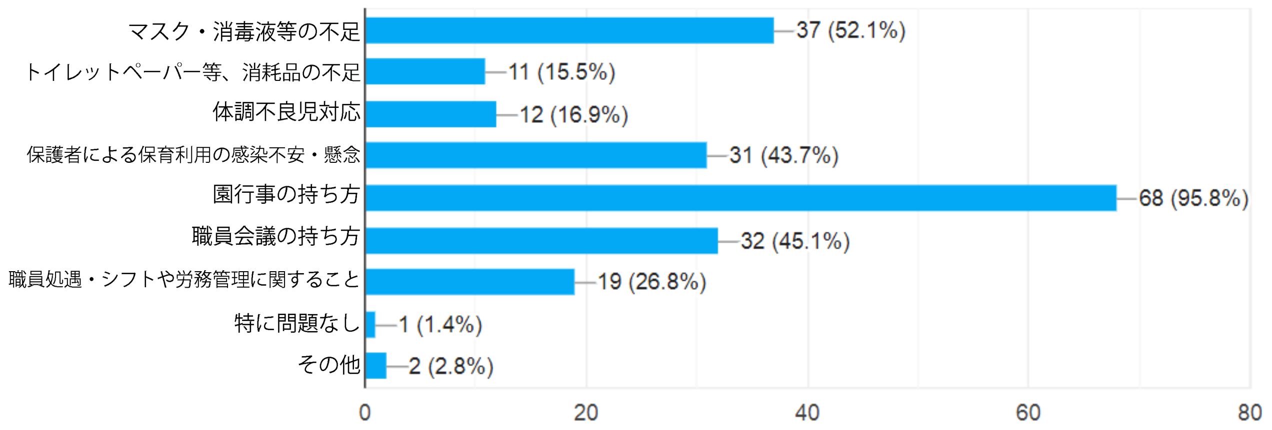
その他を選択の場合、どのような業務が増加しましたか。

8 件の回答

- 登園前の検温については、以前から行っていました。
- 保育士に余裕は出たが、調理に不足が出たため、弁当日を設けた。
- 事務量。
- 園長・主任・リーダー・事務の仕事の量がやはり増えた。 残業はしないようにした。
- 園児とその他の家族・職員とその家族、関係者の発熱時の対応や、濃厚接触者やそれに近い関係者の対応。
- 在宅勤務のための資料等。
- 三密を避ける保育や給食の体制等で必要な環境づくり。
- 各保育室の環境設定の見直し。（物の移動）

Ｑ６　現在、新型コロナウイルス感染症の影響によって起きている問題について、該当する項目に✓をしてください。（複数回答可）

71 件の回答

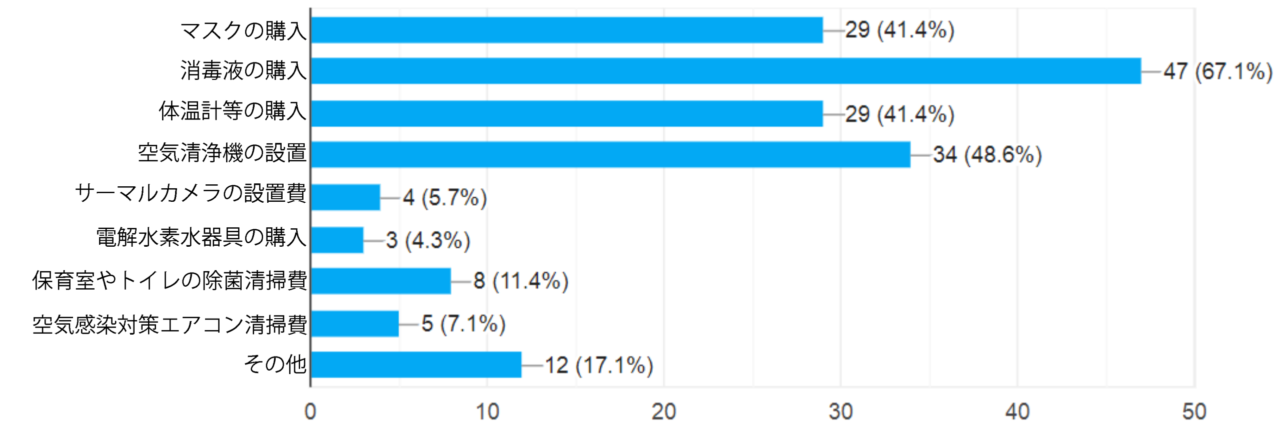


Ｑ７　Ｑ６の問題で工夫していることがあれば教えてください。

- 園でできる限りの感染防止対策をとり、保育参観等で集団とならないようにして取り組もうとしている。
- 行事を変更すること等、保護者への理解を求めること。
- 保護者への来園人数を制限した。
- 以前よりアルコールは使用しておらず、除菌洗浄生成器を使用した除菌清浄水を使用している。
- 短縮や三密を避けるということを大前提にした柔軟な対応。
- 保育アプリを利用して、情報の発信と密なコミュニケーション。
- 職員在住地域で必要な物品があれば購入してもらい、返金をして確保してきた。
- 行事の縮小・ネットショッピング。
- 送迎の際はテラスで対応し、室内には入ってもらわない。 行事は縮小して行う。
朝の体温記入をテラスで行い、保護者が記入する際はできるだけ重ならないようにする。
- 三密を避ける工夫。　　給食の体制。　　延長保育の過ごし方。
- 年度始めでもあったので周知するための職員会議が持てず困りました。 ただ、わかりやすく文章化することで、園長や主任から、エリアやクラスのリーダーから他の職員に向けて確実に伝わるように努力をしました。 また、職員からリーダーへ、および園長や主任へも漏れなく報告をできるようにしています。 これは以前からの課題でもありましたので、これを機に徹底できればと考えています。
- 開催を見合わせたり、内容を変更して開催するなどした。
- 日程の変更や行事の形態を考える。
- 現在は保護者に参加していただく行事は実施していませんが、今後は分散形式で検討する。

Q８　新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関する補助金（50万円以内／１施設）の対象経費について計画を含めた貴園の実績を該当する項目に✓をしてください。（複数回答可）

70 件の回答



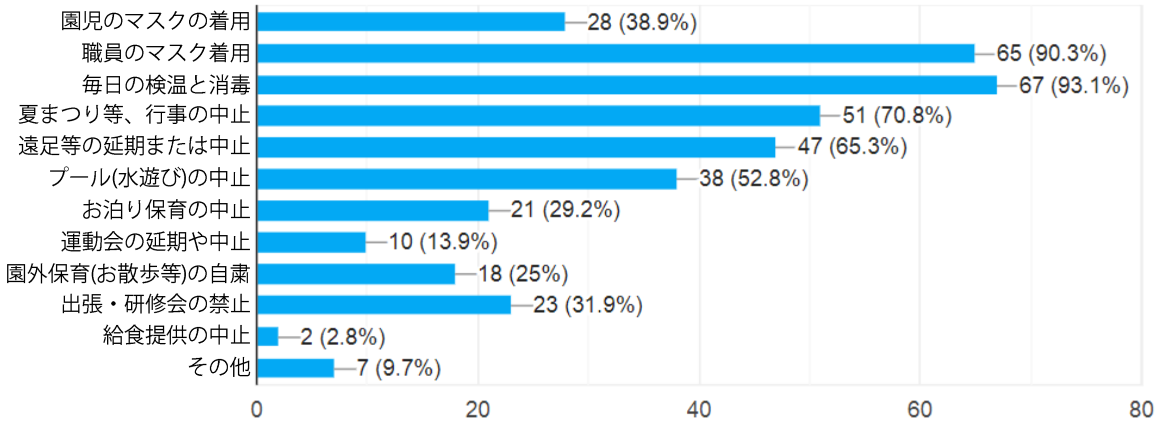
その他を選択の場合、実際に購入また購入予定の対策はどのようなものですか。

14 件の回答

- ハンドソープ。
- 三密を避けた園児の体制で、給食時に一列に並んで食べるための机の確保。（机が足りない）
- 市町によって補助金申請の物品メニューが違う。（2019年度は消毒液・手洗い石鹸・マスクのみ）
- 検討中。
- 期限が短く申請せず。
- 自治体がマスクや消毒液を一括して取りまとめ、市内の園へ配布していただいた。
- クレベリン。
- オゾン脱臭器。
- 当市では、消毒液のみの補助しか提供されませんでした。
- ジアイーノ購入。
- ペーパータオル・ウェットティッシュの購入。
- 子どもたちが間隔をとりやすくするための机や仕切り等。 プールの増数。
- すぐに測れる体温計等。 人数や状況を掲載するＰＣ等。
- ３月は市の担当課から、公立民間一斉にマスク等を一括購入して各園に配布。
６月は担当課からの方針待ちで未決定。

Q９　通常保育へ移行するにあたり、貴園で決定している行事等の取り組み方法について、該当する項目に✓をしてください。（複数回答可）

72 件の回答



その他を選択の場合、具体的に決定等をしている行事や取り組みは何ですか。

9 件の回答

登降園時の密集を避けるために、保護者には各クラスのテラスから入退出するようお願いしている。

諸行事については検討中。

園行事については中止するのではなく、従来実施してきた行事を見直し、新しいスタイルでの行事を模索する。

体操・音楽等、外部講師による保育活動の一時休止。

外部講師の活動（英語・体操・茶道）を３・４・５月は行わず６～７月に再開。　夏まつりは園児と職員のみで実施し、保護者や卒園児の招待はなし。

運動会や秋まつり・発表会をどのようにしていけばよいか検討中。

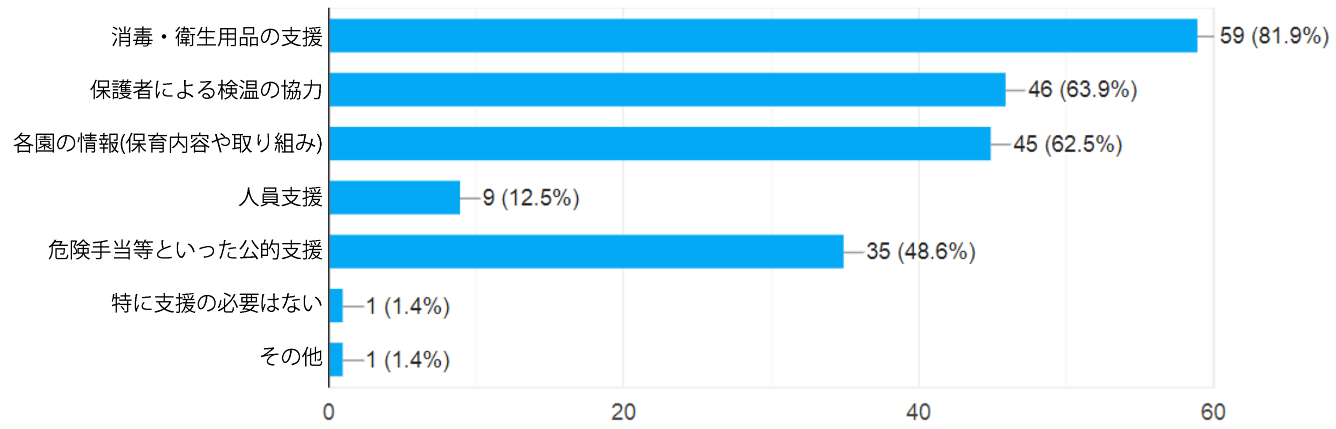
とりあえず、１学期の行事は中止します。 ただし、本園は「お泊り会」ではなく、親子で集う会としてキャンプファイヤーなどを行っていますので、今年は年長児と職員のみで、密にならないように７月に実施する予定です。 プールについては、再三幼児政策課へ支持を仰いでいますが確定していないようです。 園としてはプールができない分、密にならずに楽しめる水遊びなど、夏ならではの涼しい遊びを現在検討しています。　２学期以降の行事も万が一のことを考えると、中止になるということもあり得るので、規模を縮小して行うことも検討し、例年とは違うものになるという旨を保護者に伝えています。

実施できる行事と実施できない行事を見極めながら、秋以降に行事を延期する。

保護者に毎日の検温を協力する。 園の体制への理解や要請。

Ｑ１０　今後の保育運営に必要と思われる支援で該当する項目に✔をしてください。（複数回答可）

72 件の回答



その他を選択の場合、どのような支援が必要ですか。

3 件の回答

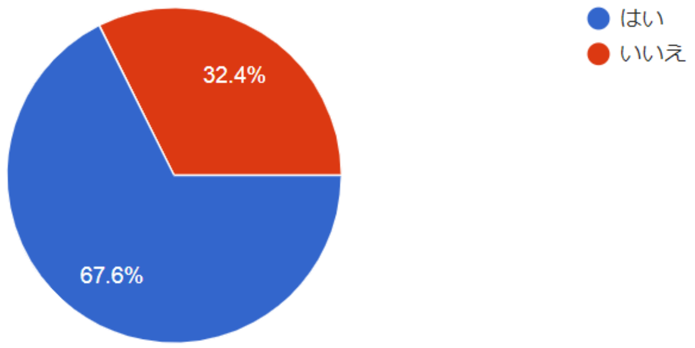
調理部門については、人員支援。

情報も対応も遅い。

感染者が出た場合の、施設消毒に係る費用の支援。

Ｑ１１　今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、担当保育課より情報や備品の提供・他施設（民間・公立問わず）の情報共有等は適切に行わていましたか。

71 件の回答



具体的に行われたこと、また不足していたことをご記入ください。

37 件の回答

実施例：手指消毒用エタノールの斡旋・布マスクの配布・保育料の日割り計算による返金対応・家庭保育協力への通知。
不足例：市役所閉鎖に伴い、行政対応が不足していた。

国の施策通り。

マスク・消毒液の支給。 公私統一の文章配布。 臨時園長会の開催等。

コロナ罹患者の情報

マスク・ハンドソープ

公立の対応など細かく教えてもらった。 聞きたいことに対し、しっかり調べ伝達してくれた。

マスク・アルコール消毒液・体温計

情報提供と消毒用品等の供給を受けた。

マスクの早期供給。

公立施設の情報や保護者宛の文書作成もしてもらえた。

公私立を問わず、町内全体の保幼小中での情報共有や文書・ホームページ等での発信。

行政からのメールを随時いただき、情報共有していた。

消毒液やマスクの配布があった。 情報はやや遅れ気味で提供されてきている。

マスクや消毒液の提供が行われた。

補助金。

各園の自粛園児数の共有。 自粛要請などの保護者に対する手紙の共有。 不足している衛生用品。 自粛期間中の保育料や給食費などの返金についての共有。

具体的に行われたこと、また不足していたことをご記入ください。

37 件の回答

役所内での調整や決定にスピード感がなく、園で判断していることも役所の判断待ちになることが多々あった。 また各種保育園団体から保育現場の意見を行政に伝える機会があったのかも含め、現場の状況が役所の判断に反映されていたのか、疑問を抱かざるを得ない。

市の決定が遅すぎる。

対応が常に遅い。

担当課からの情報・対応が遅い。

とにかく情報や指示（指導）が遅すぎます。 再三園から電話をいれました。 時間がありませんのでしたので園独自で文章を作成し保護者へ協力を求めた。 特に、登園自粛の依頼は市から強めにお願いしていただきたいと思いました。

国からのアルコール優先供給では、不明な商品に不当に高額なものが着払いとなり疑問を感じる。 その他のメールでの情報提供では解釈に悩むものもあり、様々な対応に問題があったと聞いている。

市の対策本部の決定がいつも他の市より遅かったように感じる。 また、文部科学省の教育関係からは日常への様々な指示があったが、保育園児のように年齢の低い子どもたちへの具体的な指示があまりないので、今後は対応についても整理したマニュアルがあると良い。

情報は入って来るけど、情報が入るのが遅い。

情報共有が行われていない。

連絡の対応が非常に遅い。（国の自粛要請から４日も遅れた。） 保育政策課に市長からの連絡の遅れを指摘させてもらったが、もう一つピンときていない様子。

一番情報を聞きたい時に、担当課（市役所）が閉鎖され、戸惑いがあった。

市独自の対策等は見られず、国・県当の情報提供程度でした。

情報不足・遅滞・保護者向けの文書の曖昧さや決定の遅さ。

情報はメールにて受け取り、判断が難しいものについては直接問い合わせて回答をもらっていた。
彦根市における50万円の補助金は、各園が要望した今後必要なものを市で精査後、市が必要と認めたもの（市が見積もりをして購入可能となったもの）のみ一括購入するというシステムで、第２波・第３派に備えるためのものと聞いている。
それでは間に合わず、各園の実情からも離れてしまうため適切ではないと感じる。

全て対応が遅い。 話が度々変わる。 対応の内容等、保育士に対して思いやりがない。 保育園に振ってくる仕事が多くなった。（副食の返金資料作り・保育料返還資料作り等）

公立園の対応や、担当からの対応方針が不足していた。

国や県から送られてくる情報はメールで送られてきていたが、市独自の判断等の対応が遅く感じられた。

情報はいろいろとメールで送られてきました。 行事については、参考となるようにアドバイスをくださるが園で考えてくださいとの事で悩んでしまう時もあった。

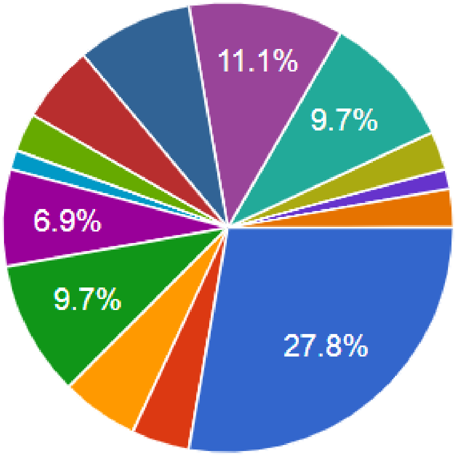
公立園においては、感染予防のために歯ブラシの使用を中止するなど、統一した対応をされていたが、後から気づかされ、細かな対応の判断に思案することがあった。

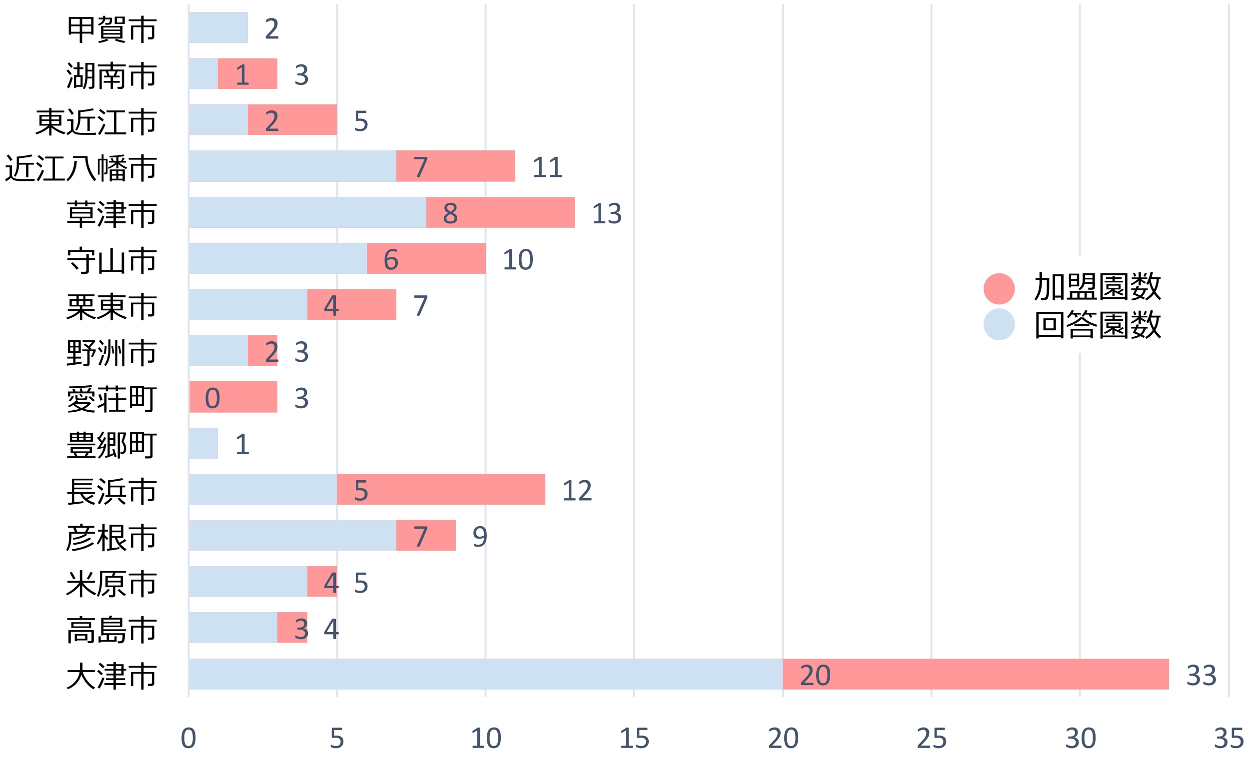
全てに対応が遅い。 提供も市からは何もない。 保育をする者への思いやりがない。

情報の共有はなく、決定も遅く、全ての行動が後手に回る。

Ｑ１２　貴園の所属する自治体を該当する項目から選択してください。

72 件の回答



大津市	２７．８％（２０）	栗東市	５．６％（　４）
高島市	４．２％（　３）	守山市	８．３％（　６）
米原市	５．６％（　４）	草津市	１１．１％（　８）
彦根市	９．７％（　７）	近江八幡市	９．７％（　７）
長浜市	６．９％（　５）	東近江市	２．８％（　２）
豊郷町	１．４％（　１）	湖南市	１．４％（　１）
愛荘町	０．０％（　０）	甲賀市	２．８％（　２）
野洲市	２．８％（　２）		

自治体別加盟園数・回答園数